

# 未来につながるまちづくり提言板 参考資料

本市は、令和4年度から5年間の新たなまちづくりの指針となる第3次光市総合計画の策定を進めています。

私たちが、未来を見据えてどのようなまちを目指すのかを、改めて考える機会が訪れる中で、私は、一人でも多くの皆様からのご意見をいただきながら、光市が進むべき道を共に考え、まちづくりを前へ進めていきたいと考えています。

この「未来につながるまちづくり提言板」は、皆様が気軽にご参加いただけるものです。どうか、皆様の想いを私に寄せてください。

光市長 市川 熙



市ホームページで、市長メッセージの動画をご覧ください。



# はじめに

新型コロナウイルス感染症で中止となった市民対話集会に代わり、より良いまちづくりに向けて、市民や地域の皆様からまちづくりに関する想いやアイデアといった様々な意見・提言を募集いたします。

皆様のご意見は、計画づくりや、まちづくりの参考とさせていただきます。



# まちづくりを考えるヒント

まちづくりの想いやアイデアといっても、すぐには思い浮かばないと思います。あなたが市民活動やボランティア活動に参加した経験がなくても、心配はいりません。「こんなまちになればいいと思う」。そのような「思い」があれば大丈夫です。**まちづくりを考えるヒントとして、まちづくりに影響を与える課題に注目してみましょう。**

## ➤市民生活に直面する課題や問題など（一例）

- ・人口が減ってきています
- ・公共施設の最適化が求められています
- ・自然災害の備えが必要です
- ・環境問題への取組みが求められています



あらゆる課題は、めぐり巡って私たちの生活に影響を与えます。

これからのまちづくりを考えるためにも、少し遠くの出来事にも目線を向けてみるのも良いかもしれませんね。

まちづくりに影響を与える社会問題に注目してみましょう

## その1 人口が減ってきています

我が国は人口減少社会を迎えています。  
人が少なくなっているのは、本市も同じです。まちの人口は、昭和59年の58,715人をピークに減少傾向に転じ、令和3年4月末の人口は50,201人となっています。  
**人口が減ると何が問題なのか、簡単に見ていきましょう。**



### 人口が減ると具体的に何が困るの？

#### ➤身近なところで様々な問題に発展…

人口が減ると、地域の店舗が少なくなったり、地域行事が縮小するなど、まちのにぎわいが失われるだけではありません。まちの担い手が減少し、公共交通の利用が減ることによる路線の廃止のほか、有害鳥獣が地域に姿を現すなど、様々な問題に発展します。



… ①まちづくりの担い手の問題



… ②公共交通の問題



… ③有害鳥獣の問題

## 人口減少がもたらす問題

# ①まちづくりの担い手の問題

人口減少や高齢化の影響などにより、地域を支えるまちづくりの担い手が減少しています。  
まちづくりの担い手とは、個人をはじめ自治会や市民活動団体、商店会など様々な組織などであり、こうした個人、団体・組織が光市のまちづくりを支えています。

●まちづくり活動に参加している人の割合は減少傾向にあります。

・平成28年度と令和2年度の比較

まちづくり活動に参加している 28.3% → 25.1%

まちづくり活動に参加していない 57.9% → 62.3%

《令和2年度まちづくり市民アンケート》



## 人口減少がもたらす問題

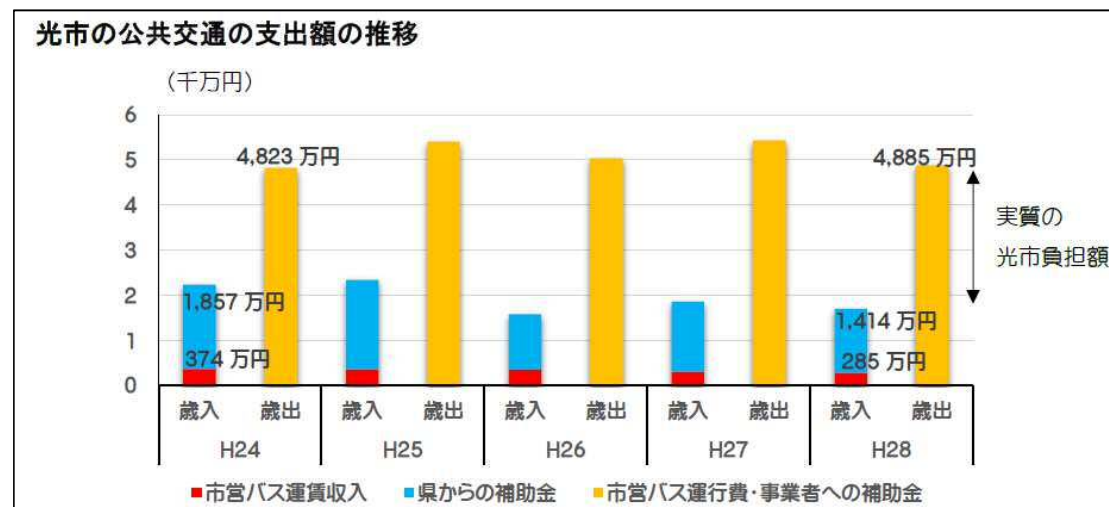
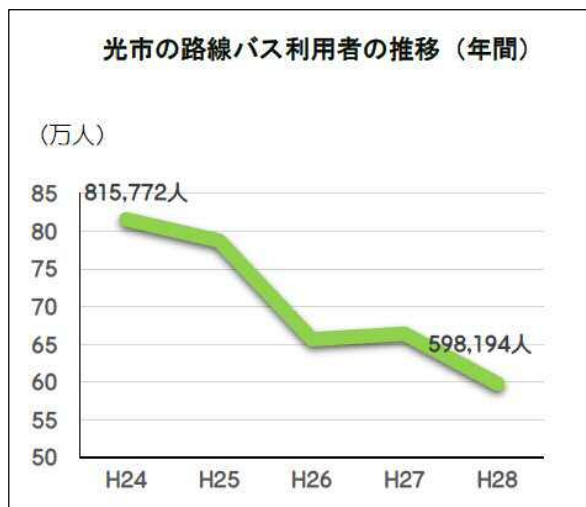
# ②公共交通の問題

人口が減少すると、一般的には公共交通の利用者が減ります。また、公共交通の利用者が減ると運賃収入が減り、運行事業者の経営が苦しくなるにつれて、運賃の値上げなどサービスが悪くなり、さらに利用者が減るといった悪い流れが生まれます。

そうすると、市が公共交通を維持するための負担が重くなり、公共交通の維持が難しくなります。

①バス利用の数は減っています。

②公共交通は利用者と市の負担で維持しています。



《光市公共交通ガイドブック》



人口減少がもたらす問題

### ③有害鳥獣の問題

イノシシやサルが農作物に被害を与え、人の住む地域にも出没する問題が中山間地域を中心に発生しています。野生動物による被害は、近年特有の現象ではなく昔からあった問題ですが、現在では、中山間地域に住む人が少なくなり、里山への人の出入りが減ることで、野生動物と人が暮らす境界線があいまいになっていることが要因とされています。

●市内の有害鳥獣による被害の状況  
(被害報告：平成29年度から～令和元年度)

イノシシ	99件	➔	134件	➔	158件
サル	25件	➔	47件	➔	25件

●イノシシやサルによる被害には、防護柵の設置による被害防止や箱わなによる捕獲などで対策を講じています。  
(右写真は、市内の塩田地区に設置した防護柵)



まちづくりに影響を与える社会問題に注目してみましょう

## その2 公共施設の最適化が求められています

私たちのまちには、市役所庁舎・学校・図書館・総合体育館・公営住宅などの建物や、道路や橋りょうなどのインフラ施設等、様々な公共施設があります。

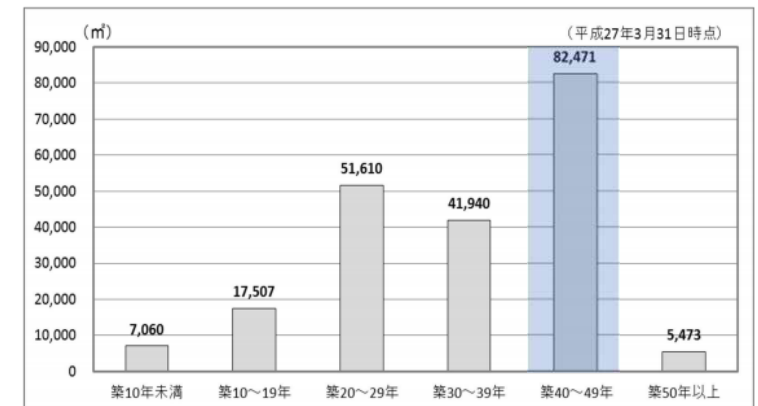
こうした施設の多くは、人口が増加傾向にあった高度成長期を中心に設置されてきたものであり、多くの施設で老朽化が進んでいます。

**こうした都市インフラの問題について、簡単に見ていきましょう。**

市の公共施設を建築からの経過年で見ると、築40～49年が最多となっています。※1

老朽化した施設をすべて更新するとなると、莫大な建て替え費用が掛かるため、次世代に大きな負担を残さないよう、長期的な視点に立って、真に必要な公共施設の最適化が求められています。

建築経過年度別整備状況（延床面積）



※1 光市公共施設等総合管理計画より



市では、公共施設の適正化に向けた取組みをしています。

### ①保有総量の適正化

②予防保全による長寿命化の推進（施設を長持ちさせる取組み）

③管理運営の適正化（施設の維持管理の経費を工夫を用いて安く抑える取組み）

#### ●保有総量の最適化とは…

市の規模や将来の人口見通しに応じた公共施設の保有が望まれます。

最適化に向けては、公共施設を再編や統廃合を丁寧に進める必要があります。

市では、大和コミュニティセンター複合施設を建設しました。この施設は、支所・図書館・コミュニティセンターを一体化させた施設です。

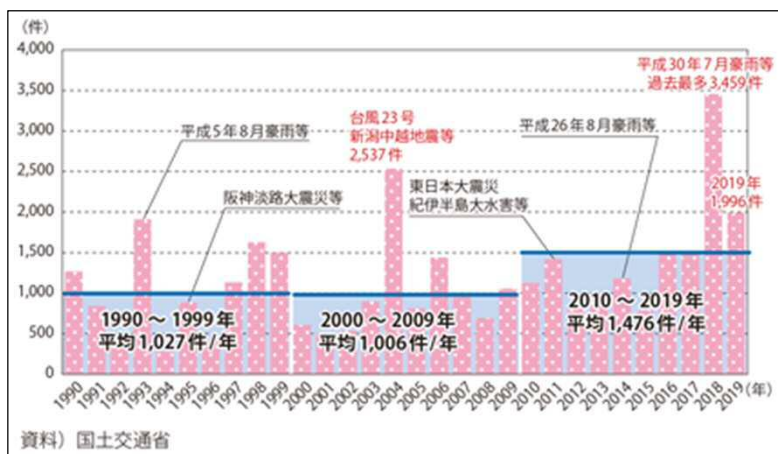


まちづくりに影響を与える社会問題に注目してみましょう

## その3 自然災害への備えが必要です

自然災害がいつ発生するか、どの程度の被害を受けるかは事前に分かりません。だからこそ、自然災害への備えが必要となります。自分の身は自分で守る備えはもちろんこと、災害時に先ず頼りになる地域での助け合いについて考えることも大切です。

全国的に洪水や土砂災害を引き起こす大雨や短時間強雨の回数が増えています。



地域の助け合いを支援するため、市では、地域との防災訓練の実施や、自主防災組織・自治会・福祉施設などが実施する防災に関する研修などに、光市自主防災組織アドバイザー等の講師を派遣しています。



まちづくりに影響を与える社会問題に注目してみましょう

## その4 環境問題への取組みが求められています

便利で快適な暮らしには、モノを大量に生産・消費・廃棄する社会経済サイクルで実現されてきた側面がありますが、これからは資源をより大切に利用して付加価値を生み出す循環経済への移行が求められています。

また、地球温暖化や海洋ごみによる海洋汚染の問題が、国や地域を超えた深刻な問題として、これまで以上に強い関心を集めています。

こうした環境問題について、簡単に見ていきましょう。

エスディージーズ

### ➤SDG s を知っていますか？



SDG s は、世界的な気候変動や海洋汚染、貧困や男女の平等などの社会的課題を、国際社会で協力しながら解決を目指す17の目標です。

ゆたかな地球を未来につなぐために、私たち一人ひとりの行動が重要視されています。

➤詳しくは、後ろのページ (p14) で紹介します



… ①大量生産・消費・廃棄の問題

… ②海洋ごみの問題

## 環境問題への取組み

# ①大量生産・消費・廃棄の問題

大量生産・大量消費・大量廃棄を繰り返す現代社会の暮らしは、地球の資源に限りがあることから、長続きはせず、持続可能な仕組みではありません。こうした仕組みを改め、ごみをできるだけ出さず、ごみを資源として再利用するといった環境への負荷を減らした循環型社会の構築が求められています。

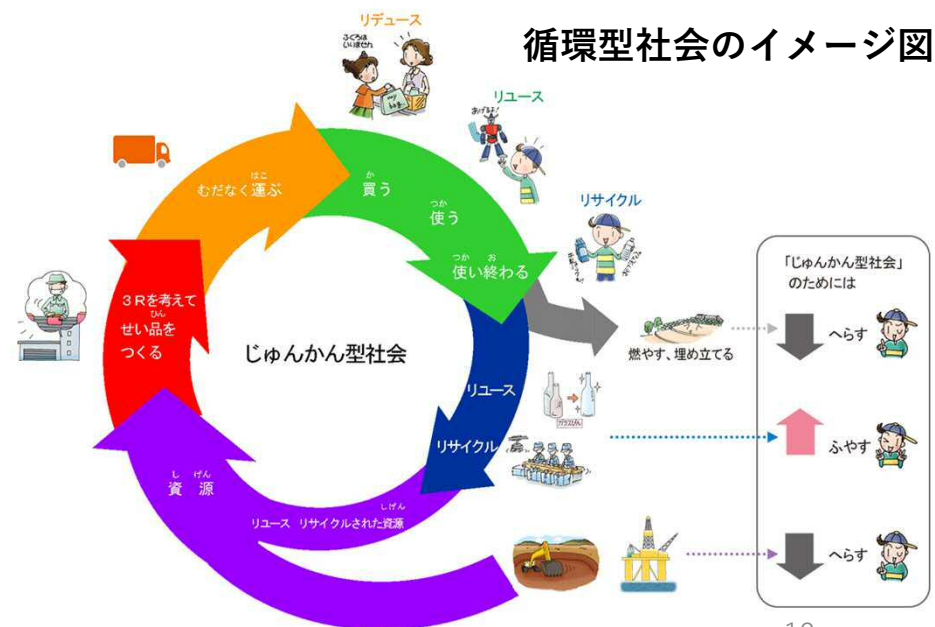
普段の買い物やごみ捨ての際に、資源を大切にす  
る視点をもって行動することは、循環型社会に向けた  
取組みの一つと言えます。

光市では、市民の9割超の人がごみの分別を心掛  
けています。※1

市民が実践するごみの減量やリサイクルの取組み  
では、「詰め替え商品を選ぶ」、「マイバックなど  
を持参し、レジ袋を断る」といった取組みが高い割  
合を占めています。※2

※1 《令和2年度まちづくり市民アンケート》

※2 《第2次光市一般廃棄物処理基本計画》





## 環境問題への取組み

# ②海洋ごみの問題

私たちが生活で使っているペットボトルや使い捨て容器が、ポイ捨てや適切に処理されないことによって、風や雨により河川や海に流れ込み、海洋ごみとなります。海洋ごみとなったプラスチックは、海に漂う中で徐々に細かく砕かれ、魚などの生き物がエサと間違えて食べてしまうマイクロプラスチックの問題があり、そうした魚を人が食べることで、人体への影響が心配されています。

道端に捨てられているごみは、そのまま排水溝や河川に流れて瀬戸内海へ流れてしまうかもしれません。ポイ捨てしない・させないまちづくりが大切です。

光市では、海水浴などで海岸に多くの人が集まる7月と8月に、砂浜のごみを回収するビーチクリーナーを使用し、海岸の漂着ごみを清掃しています。



(ビーチクリーナー)







ピックアップ（SDGsを知っていますか）

## ゆたかな地球を未来につなぐための17の目標です

SDGsの目的は、環境破壊を止め、資源や労働力の収奪、紛争や差別を止め、地球を人類が住み続けられる場所に維持することです。

### ➤まず、単語から見てみましょう

・SDGsは、英語の「**Sustainable Development Goals**（サステイナブル・ディベロップメント・ゴールズ）」の略です。

・Sustainableは「持続可能な」、Developmentは「開発」、Goalsは「目標」という意味です。

**SDGsは「持続可能な開発目標」と言われます**

- ・持続とは、人間が地球に住み続けること
- ・開発とは、より良い世界をつくること

つまり、持続可能な開発目標とは、「ゆたかな地球を未来につなぐための目標」のことです。

詳しく知りたい人は、コチラをご確認ください。

（外務省HP内の特集ページ）



写真素材：ぱくたそ（www.pakutaso.com）



## ピックアップ（SDGsを知っていますか）

➤次に目標を見てみましょう（目標は全部で17あります）

<b>1</b> 貧困をなくそう 	<b>2</b> 飢餓をゼロに 	<b>3</b> すべての人に健康と福祉を 	<b>4</b> 質の高い教育をみんなに 	<b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう 	<b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に 
<b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	<b>8</b> 働きがいも経済成長も 	<b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう 	<b>10</b> 人や国の不平等をなくそう 	<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを 	<b>12</b> つくる責任 つかう責任 
<b>13</b> 気候変動に具体的な対策を 	<b>14</b> 海の豊かさを守ろう 	<b>15</b> 陸の豊かさを守ろう 	<b>16</b> 平和と公正をすべての人に 	<b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう 	



## ピックアップ（SDGsを知っていますか）

調査によると、市内の約半数の人はSDGsのことを「知らない」と答えています。

これからは、**SDGsをたくさんの人に知ってもらうこと**、一人ひとりが**ゆたかな地球を未来につなぐ取組みを実践すること**が求められています。

●市民の皆様が、ゆたかな地球を未来につなぐため、暮らしの中で取り組んでいることは、多い順に次の通りです。

- ・海や川に行ったらごみは持ち帰る  
→目標14 海の豊かさを守ろう
- ・マイバック、マイボトルを持参する  
→目標12 つくる責任つかう責任
- ・いじめや差別をしない・させない  
→目標10 人や国の不平等をなくそう

《第3次光市総合計画の策定に向けた市民意識調査》

### ・市民の皆様が暮らしの中で、取り組んでいるSDGs（トップ3）



### ・市民の皆様が、光市のまちづくりで特に必要だと思うSDGs（トップ3）



# ヒントのテーマをもとに考えてみましょう

ここまで、まちづくりを考えるヒントとして、まちづくりに影響を与える課題の一部を簡単に見てきました。もしも、興味や関心をもてるテーマが見つければ、そのような社会問題に対して、「こうしたらよいのではないか」といったアイデア（提言）や思い（意見）を考えてみてください。

若者や年配者も参加できる  
地域行事が増えると嬉しい

里山を整備するボランティアが  
あれば、参加してみたい

〇〇の問題

公共交通が無くなるのは嫌だな。  
どうすれば乗る人が増えるのだろう。

地域の絆がより深まる  
まちになるといいな。

綺麗な海を守るため、海岸清掃の取  
組みをもっと進めれば良いと思う





# おわりに

本市は、まちの将来像として、誰もが幸せを実感することができる「ゆたかな社会」を目指しています。こうした将来像を実現するためには、次の視点が重要になると考えています。

●新型コロナウイルス感染症をはじめ、社会の変化によって現れる新たな課題に対応する しなやかさ

●本市の大きな強みである市民力や地域力を活かした連携や協働のまちづくりを継続して進めるための たくましさ

●まちの活力の源となる人と人、人と地域との絆をはじめ、地域や世代を超えた多様な価値の つながり



問合せ先 TEL (0833) 72-1407  
光市企画調整課 FAX (0833) 74-1041  
企画係 メール kikaku@city.hikari.lg.jp